

子どもたちからの「えっ!」、大人の「おお!」「えっ!」

2025 | 2

1. It's painful. それは辛い!

ある5年生が、自分が選んだ場所の食べ物や楽しめること、お土産などを紹介しようとタブレットに入っている翻訳アプリを使って調べていました。



In Hong kong, you can eat Malatang. It is painful.

食べ物で painful とはどんな味だろうねと訊ねると、「からい」で調べたら出てきたよという説明がありました。なるほど、漢字では、「からい」も辛い、「つらい」も辛いでした。子どもも大人も、「おお!」

2. Two point five centimeters

4年生が英語を聞いたとたん、「わかんない!」と言い出しました。黒板には、2.5 cm と書いてありましたが、意味の推測を何が妨げたのでしょうか。point や centimeters という耳慣れていない音が子どもたちの思考をシャットダウンしたのかもしれませんが。指導者は、知っている単語を手掛かりに類推しようとする子どもたちの気持ちをなくさないように、気をつけなければならない場面でした。

3. letters

「レタス? レタス、好きだよ。おいしいよね」という発言に、何を言いたいのだろうかと思いながら、‘Find words with three-letter words in the dictionary. Each word has only three letters.’と再度いうと、またレタスと言いました。3文字単語の例を出していくと、「ああ、文字のことだったのか〜」と自分で気づき、letters と lettuce の音の違いにも気づいてきました。「おお」、言われてみれば、音が似ている!